

令和5年度

研究要領

研究テーマ 「子どもたちの確かな学びを支援する学校事務」

サブテーマ ～リーダーシップ de 組織開発～

基本方針

- 学校組織の基幹的職員として、経営資源を活用し、他職との連携・協働などを通して学校の課題解決や発展につなげることができる事務職員をめざし、その方策や具体的な実践を提案します。
- 「学校事務グランドデザインつぐみ 2022」等を用いて、よりよい学校組織づくりにおいて事務職員が主体的に行動し、リーダーシップを発揮できるよう、意識の向上を図ります。

研究活動概要

- 全事研福井大会分科会での提案発表において、学校組織開発を推進するための具体的方策や事務職員の意識の在り方、他職との協働体制などについて提案し、よりよい学校組織の構築に向けて事務職員がどのようにマネジメントしていけるかを探ります。
- 「学校事務グランドデザインつぐみ 2022」の活用を促進し、「事務をつかさどる」意識の醸成と行動の変革に努めます。
- 令和6年度からの県事研の新体制に向けて、秋季研究会分科会の在り方等を中心に、県事研全体のよりよい研究推進の方法について会員の皆様と共に考えます。

令和5年度

研修要項

基本方針

教育行政職員としての専門的知見や多角的な視点を持ちマネジメントスタッフとして機能するために、以下の項目を柱として研修や活動を進めていきます。

- 学校事務グランドデザインが示す、子どもたちを取り巻く人や機関・家庭地域とつながり、共に主体的に関わり働きかけていく事務職員になるための継続的な研修の推進
- 会員が主体的・意欲的に研修を受講できるような場の設定
- 計画性のある初任者研修を実施し、相互に学び合い、能力を高め合う組織づくりの追究
- 今後の学校事務組織を担い、新しい学校事務構築に貢献できる人材の育成

年次別研修課題

キャリアに応じた学校運営参画を目指そう

年次別研修課題を解決するために、以下の項目を重点に研修や活動を進めていきます。

(1) 会員の資質向上のための研修

会員のキャリアに応じた資質・能力・意欲を高め、各々がめざす事務職員像に向けて主体的に行動することへの意識改革を促す研修を実施していきます。

(2) 人材育成のための研修の充実

初任者や少経験者を対象とした研修においては、実践の基礎基本や手法等を学び、正確で迅速に校務を遂行できるように内容の充実を図ります。

研修の種類

* 初任者研修

- ・ 初任者（臨時的任用者も含む）や経験年数が3年以下の事務職員に対して必要な研修

* 少経験者研修

- ・ 校内の調整的業務を担う事務職員として、実践を推進するための研修

* 中堅者研修

- ・ 若年層のサポートや各種マネジメントの展開をめざすためのリーダー育成研修

* リーダー研修

- ・ 校内外の企画業務を担うリーダーのための資質向上研修
- ・ 地域協働業務を推進する地域リーダーによる交流研修

研修の体系

基本理念 つながり行動する 事務職員をめざして		経験 職能	I 期(0年～) 実践の基礎・基本	II 期(5年～) 実践の推進	III 期(10年～) 実践の発展	IV 期(20年～) 指導的な役割の力量形成	V 期 経営・管理能力の 向上
		求められる 資質	学校事務職員としての自覚や使命感、基礎的業務に必要な知識・技能を身につける。	課題を明らかにし、専門的知識・技能の向上を図る。	課題を自ら捉え、主体的に実践を遂行し、経験を共有して発展を図る。	指導的立場と役割を自覚し、学校経営の発展に貢献する。	
研修種別	研修目的						
基本研修	学校事務職員（地方公務員）としての自覚と職務の遂行のために必要な能力を身につける。		初任者研修	少経験者研修	中堅者研修		標準的職務研修
資質向上研修	キャリアに応じて必要な資質・能力の向上、学校経営に参画していくために必要な能力を身につける。		春季研究会（全体研修） 夏季研修会（階層別研修） 秋季研究会（全体研修）			自己啓発研修	リーダー研修
官制研修	職務の専門性を高めるために必要な知識向上を図る。		初任者研修	学校事務職員研修 教育総合研究所研修 自治研修所研修			教職員中央研修
支部研修	実践力を高め地域連携に対応する。		研修プログラム 支部研究会研修 自治研修所研修				
自己研修	職務に関する課題や学校経営に対応するための資質向上を図る。		研修プログラム 各種研究大会研修 職場内研修				